



佐織中だより

～ 多様な「幸せ」実現 ～

愛西市立佐織中学校

第29号

令和5年12月22日

(発行者) 佐古 達哉

♪ 先生たちの「勉強会」

今週月曜日の5時間目から生徒下校後の時間を使って、先生たちの「授業づくり」レベルアップを目指した「研修会」を実施しました。今回の研修会には、講師として海部地区の教育界にも深い縁がある岐阜聖徳学園大学の教授をお招きするとともに、市内の多くの先生方にも学びを共有していただくということで案内を出したところ、市内の小中学校から15名の先生方が参加をしてくださいました。

研修会では、まず5時間目の1年C組「数学」の授業を先生方に参観していただきました。C組の子たちはとても多くの先生方が教室に押し寄せてきたため、かなりドキドキしたのではないかと思います(1年生の先生からは、「普段のC組と違って…」という声もチラホラありましたが)、そんな中でGoogle Chatをお互いの教え合い・学び合いのツールとして積極的に活用し、授業の課題をできるようにしようがんばる様子に、多くの方から「本当に立派な子たちですねー」とお褒めの言葉をいただきました。1年C組の皆さん、ご協力ありがとうございました。



そんな子どもたちの協力も得て実施をした研修会では、本校の授業づくりでの課題や今後の「道標」をたくさん得ることができました。これまでの学校の授業では、潜在的に成績上位や下位の子たちに「我慢」や「無駄」を強いながら一斉指導を展開してきた点が問題点として挙げられる時代になってきています。本校でも、こういった現代的な課題に向き合う意識をみんなで共有しながら、あらゆる子にとって有意義な学びができる授業や学習のあり方を探求していきたいと思ひます。

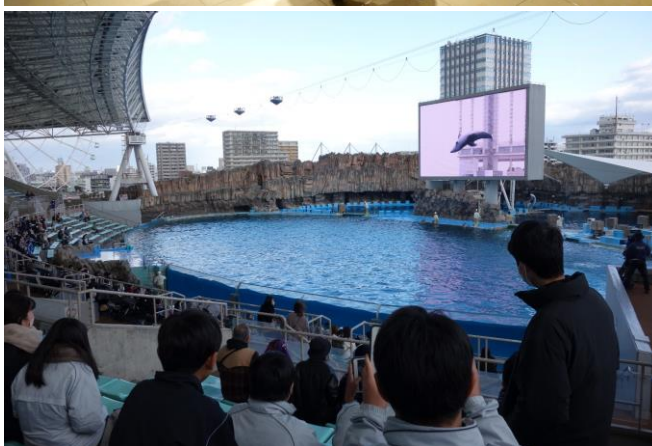


先日実施をした「学校評価アンケート」などの中でも、現代的課題に対する学校の変化・対応に、賛否両論さまざまなお意見をいただくことができました。いただいたお声につきましては全て拝読させていただきましたが、こういった多くの考えをきちんと踏まえた上で、私たち大人がこれまでに培ってきた価値や考え方の先にある、まだ見ぬ「未来で活躍できる人材」を育成するために必要なことを考え、子どもたちの「多様な『幸せ』実現」に長い目で見てつながる実践を積み重ねていきたいと考えています。各ご家庭におかれましても、ぜひ明日から始まる冬休みの時間を使って、「新年の抱負」の話題と共に、「子どもたちの未来と今」について親子で考える機会を設けていただけたらと願ひます。

時代の変化に応える「進化」を目指して努力をする先生たちの授業について、また普段から実施をしている「学校開放」などの機会も利用していただき、多くの皆さんに応援・ご理解をしていただけたらと思います。

♪ 良い年をお迎えください

今日の登校日をもって、2023年の学校生活が締めくくりとなりました。1年前の2023年が始まった頃を思い出すと、1年生は小学生から中学生になり、2・3年生も想像していた「1年後」とはいろいろ違った「今」の姿があるのではないのでしょうか。ちなみに今週の水曜には、2023年の締めくくりには1年生が「校外学習」に出かけ、さまざまな活動に仲間と協力して取り組む様子に、入学時からの成長を実感して冬休みを迎えることができました。



もうすぐ締めくくりとなる2023年は、ぴよんぴよんと飛躍を目指す「兎年」でしたが、来る2024年は大きく空へと駆け上がる「辰年」となります。ぜひ、この年末年始に自分自身の「これまで」と「これから」に思いを巡らせ、力強く大空へ飛翔する2024年にしてほしいと願います。

本校の教育活動に対しまして、2023年中には多くの皆様にご理解ご協力をいただき、本当にありがとうございました。2024年も、変わらず温かいご支援をいただきますようお願いいたします。皆様、どうぞ良い年をお迎えください。